

2024年3月4日  
株式会社ACSL

## ACSL、日本郵便と共同開発の新型ドローンがデビュー！ 物流専用ドローンによるレベル3.5飛行での配送を実施

- ACSLは、2021年6月に、日本郵便株式会社および日本郵政キャピタル株式会社と業務提携契約を締結し、物流専用ドローンの開発に取り組んできた
- 2024年3月4日から3月22日の期間中、本物流専用ドローンを用いたレベル3.5飛行での荷物などの配送試行を日本郵便が実施

株式会社ACSL（本社：東京都江戸川区、代表取締役 CEO：鷺谷聡之、以下、ACSL）は、2021年6月に、日本郵便株式会社（以下、日本郵便）および日本郵政キャピタル株式会社と業務提携契約を締結し、物流専用ドローンの開発に取り組んでまいりました。2024年3月4日から3月22日の期間中、本物流専用ドローンを用いた荷物などの配送試行を日本郵便が実施しますので、お知らせいたします。

本試行は、新たに開発した物流専用の新型ドローン（通称：JP2）を用い、郵便局から配送先地区にお住まいの受取人さま宅の近隣施設まで、補助者なし目視外飛行（レベル3.5<sup>※</sup>）により実施するものです。

既存の機体よりもペイロード（搭載可能な荷物の重量）が増加した機体を活用することで、中山間地域でのドローン配送の実用化がより進むものと考えています。

ACSLは、今後も、安全、安心なドローン開発を進めることで社会インフラに革命を起こし、人手不足・高齢化・業務の急増という社会インフラが抱える課題の解決を目指してまいります。そして、ドローンがますます生活者に身近なものとして社会実装されていくこと推進してまいります。

### ■日本郵便主催の配送試行の概要

- ・運行日：2024年3月4日（月）～同年3月22日（金）
- ・運行区間：出石郵便局（兵庫県豊岡市出石町町分117）配達区内
- ・主催：日本郵便
- ・実施協力

株式会社ACSL：物流専用ドローン「JP2（通称）」の提供および運航の支援  
兵庫県・豊岡市：地域、関係団体などと調整支援

※レベル3.5

レベル3.5飛行では、従来のレベル3で必要とされる立入管理措置（補助者・看板の配置）がデジタル技術の活用により撤廃となり、道路や鉄道等の上空の横断が条件付きで可能となりました。

## ■使用機体概要

物流オペレーションを考慮した荷物の搭載等の簡便性や、社会受容性を意識したデザインを重視しつつ、「レベル4」のための型式・機体認証取得を想定した設計・仕様。

通称	JP2
外寸 (プロペラ含む)	長さ：2,272mm 幅：2,500mm 高さ：721mm
動力	バッテリー
最高速度	10m/s(36km/h)
最大離陸重量	24.9kg
最大積載量	4.5kg
運航方式	自動航行
耐候性能	風速 10m/s



JP2 機体イメージ

- ・地上局 PC 画面で常時遠隔監視
- ・緊急時等には遠隔からの操作介入可能

## ■（参考）新・旧機体スペック比較表



【物流専用機「JP2」】(CGイメージ)



【現行使用機「PF2」】(19年度から使用)

項目	物流専用機	原稿使用機 (PF2)
製造者	株式会社 A C S L	同左
機体サイズ	2,272 mm×2,500 mm×721 mm	1,173 mm×1,067 mm×654 mm
最大離陸重量	24.9 kg	9.8 kg
ペイロード	4.5 kg (100サイズ程度)	1.7 kg (80サイズ程度)
最大飛行距離	約 35 km	10 km
配送物の収納・切離し	機体上部から収納、下部から切離し	機体下部から取付け、切離し

【株式会社 A C S L について】 <https://www.acsl.co.jp/>

A C S L は、産業分野における既存業務の省人化・無人化を実現すべく、国産の産業用ドローンの開発を行っており、特に、画像処理・AI のエッジコンピューティング技術を搭載した最先端の自律制御技術と、同技術が搭載された産業用ドローンを提供しています。既にインフラ点検や郵便・物流、防災などの様々な分野で採用されています。

以 上